

■ 大人も子どもも 共に地域で学びましょう

(南笠東学区地域協働合校推進委員会)

1 【活動の趣旨】

地域・学校・家庭の三者が互いに協力・協働することにより、「子どもたちが健全に育つまち」「人が輝くまち」となることを目指します。

2 【特徴的な活動内容】

○わんぱくプラザ南笠東「おもちつき」

コロナ禍で今まで体験できなかった「おもちつき」を、4年振りに開催しました。初めて体験する児童もあり、地域の方から、昔ながらの杵つきの方法を学びました。地域の方との関わりを持ちながら、新しい体験ができる貴重な時間となりました。

12月16日(土)参加者：子ども40名、大人21名



【わんぱくプラザ南笠東 おもちつき】

○子ども体験教室

4～6年生を対象に、協働作業を通じ仲間との友情を育み、友人や家族や地域とのつながりを学ぶ。今年度は昨年度まち協で締結した「愛する地球のために約束する協定証」を受け、エコな取り組みについて学びました。



【子ども探検隊 江戸時代の南笠東に行ってみよう！】

○子ども探検隊

地域にある資源を生かし、郷土への愛着を図ることを目的に、近隣の新名神高速道路の現場見学、狼川の生き物探索、街道を中心とした歴史、弁天池での水鳥観察などを開催し、地域の大人と共に学びました。

3 【実施に当たっての工夫】

- ・屋外での観察などは保護者や地域の大人の方の協力で安全確保の取り組みをしました。
- ・インフルエンザ等発熱疾患で学級閉鎖のクラスの児童は、参加を取りやめてもらいました。併せて手洗いや手指消毒、マスク着用も感染対策として行いました。

4 【事業の成果】

- ・地域の方で、講座の内容に興味を持っておられる方が参加されることで、子ども達も広い興味を持たれたように思います。
- ・日本古来のおもちつきを体験する機会は少なくなっており、地域の方から準備や手順を教えてもらい日本文化にも触れる良い機会となりました。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

来年度は、子ども達だけを対象とした事業だけではなく、地域の方の参加募集も検討し、より多くの方と協働する活動を目指します。